



八女茶発祥
600年記念
アート事業

八女茶山おどりプロジェクト

認定NPO法人山村塾



こめづくり もりづくり ひとづくり

山村塾

@福岡県八女市黒木町笠原

都市と農山村の住民が一緒に
農作業や山仕事を楽しみ、山村の自然を守る

- 1994年4月1日 2軒の農家を中心に発足
- 2014年 NPO法人格取得
- 2017年 特例認定NPO法人
- 2020年 認定NPO法人

※NPO会員126名（正38名＋賛助88名）、
活動コース会員67家族、棚田米サポーター79名

活動の内容

目的

八女茶発祥の地として八女茶文化を育んできた笠原地区を拠点に、「八女茶山おどり」の推進を行い、それらを通じて美しい農山村景観の保全とそれを支える農林業と農山村地域の持続可能な暮らしについて考える。

計画

推進会議 3 回：八女茶山唄・八女茶山おどり普及、600年記念事業

体験会 1 回：踊り手育成、唄とおどりの普及

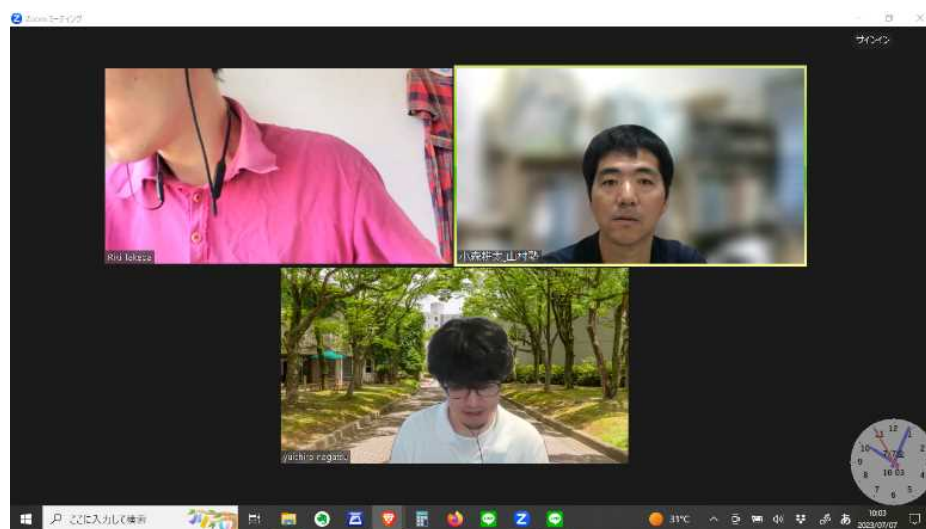
発表会 1 回：八女茶山唄、八女茶山おどり、八女茶の体験、意見交換

実施概要

	日程	活動内容	活動場所	参加者数
八女茶山おどり 推進会議	5/5（金）	八女茶発祥600年記念アート 事業について	えがおの森	3名
	7/7（金）		オンライン	3名
	3/9（土）		旧八女郡役所	5名
八女茶山おどり 座談会	3/9（土）	八女茶山おどりについてのトーク を収録しYouTube配信	旧八女郡役所 (YouTube配信)	77回視聴 (6/3時点)
八女茶山唄 & おどり発表会	9/23（金祝）	闘茶会をアレンジした座談会と八 女茶山唄・おどりの体験発表会	えがおの森	58名

①八女茶山おどり推進会議（3回）

八女茶山唄・八女茶山おどりの普及を通じ、これからの茶文化・農村文化を考えた。
八女茶発祥600年記念アート事業として、八女茶山にまつわる関連事業を計画した。



参加者

馬場美雅（八女市観光大使）

武田力（演出家・八女茶山おどり制作者）

長津結一郎（九州大学大学院芸術工学
研究院准教授）

NPO法人山村塾スタッフ



動画リンクQRコード
<https://youtu.be/mzxCLVP9RkU>

②八女茶山おどり座談会（YouTube配信）

2024年3月9日（土）@旧八女郡役所

出演 武田力（演出家、民俗芸能アーカイバー、八女茶山おどり 振付）

馬場美雅（八女市観光大使、八女茶PR大使）

高橋康太郎（特定非営利活動法人八女空き家再生スイッチ理事長、朝日屋酒店店主）

「これまでの八女茶山おどり」、
「これからの茶山おどり」について
語り合っていました。

令和5年度 市民との協働によるまちづくり提案事業 活動事例報告 「八女茶山おどりプロジェクト」



③唄って踊って味わう
八女茶山
～これまでの600年、
これからの600年～

9/18（月祝）@えがおの森

600年を味わう闘茶会

登壇者：松尾章三郎氏（茶生産者）
城昌史氏（茶生産者）
徳永慎太郎氏（茶生産者）

唄解説：馬場美雅（八女市観光大使）
八女茶指導：松尾瑞紀
（日本茶インストラクター）



3名の茶生産者がお茶づくりを語る。そのお茶を味わうひと時

そして踊りと唄も味わいました

④その他（八女茶発祥600年記念アート事業として）

あちこちに登場・参加しました。



事業の成果

- ・「八女茶山唄」・「八女茶山おどり」の紹介や体験を通じて、美しい農山村景観がどのように創られてきたのか、様々な人たちと想像する機会を得た。

- ・ 八女茶発祥600年をテーマにしたワークショップや座談会を実施。

- ・ 推進会議3回、座談会YouTube視聴77名、発表会に58名の参加

- ・ このほか

八女茶発祥600年祭実行委員会や関連組織と連携

八女茶発祥600年の機運を高めるべく各イベント参加や地元小学校への出前ワークショップ

令和5年度 市民との協働によるまちづくり提案事業 活動事例報告 「八女茶山おどりプロジェクト」



八女茶発祥601年も事業継続→602年も楽しめます！